

公募型プロポーザルによる明石市役所新庁舎建設設計業務委託に係る
受託予定者の決定について

現在の市役所本庁舎は、1970年（昭和45年）に建設され、耐震性や老朽化、バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応など様々な課題があるところです。

これらの課題を解決するとともに、より一層の市民サービスの向上を図るため、国の財政支援措置の適用要件である本年度末までの実施設計着手に向けて、新庁舎の設計業務委託に係る公募型プロポーザルを実施しました。

このたび、明石市役所新庁舎設計者選定委員会（以下「選定委員会」という。）の評価を踏まえ、次のとおり受託予定者及び次点者を決定しましたのでお知らせします。

1 選定スケジュール

2020年（令和2年）4月27日	公募型プロポーザル実施を公表
2020年（令和2年）6月1日	一次審査：4者参加
2020年（令和2年）7月9日	二次審査：4者参加

2 選定結果等

審査は、一次審査と二次審査の二段階方式で行いました。

(1) 一次審査（参加要件の審査）

参加要件を審査し、参加のあった4者すべてが参加要件を満たしていました。

【参考：主な参加要件】

事業所要件	<ul style="list-style-type: none"> 一級建築士事務所の登録があること。 一級建築士を20名以上保有していること。 										
実績要件	<ul style="list-style-type: none"> 過去10年以内に、地方公共団体の発注に係る5階建て以上かつ延床面積10,000㎡以上の庁舎に関する基本設計及び実施設計業務を完了した実績を有すること。 免震構造を採用した庁舎の基本設計及び実施設計業務を完了した実績を有すること。 										
配置予定技術者要件	<ul style="list-style-type: none"> 以下の資格を保有する技術者を配置すること。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>配置予定技術者</th> <th>資格要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管理技術者</td> <td rowspan="2">一級建築士</td> </tr> <tr> <td>意匠担当主任技術者、意匠担当技術者</td> </tr> <tr> <td>構造担当主任技術者</td> <td>構造設計一級建築士</td> </tr> <tr> <td>電気設備担当主任技術者</td> <td rowspan="2">設備設計一級建築士 又は建築設備士</td> </tr> <tr> <td>機械設備担当主任技術者</td> </tr> </tbody> </table>	配置予定技術者	資格要件	管理技術者	一級建築士	意匠担当主任技術者、意匠担当技術者	構造担当主任技術者	構造設計一級建築士	電気設備担当主任技術者	設備設計一級建築士 又は建築設備士	機械設備担当主任技術者
配置予定技術者	資格要件										
管理技術者	一級建築士										
意匠担当主任技術者、意匠担当技術者											
構造担当主任技術者	構造設計一級建築士										
電気設備担当主任技術者	設備設計一級建築士 又は建築設備士										
機械設備担当主任技術者											

(2) 二次審査（書類審査、プレゼンテーション・ヒアリング審査）

書類審査（参考見積書、業務実績等の審査）とプレゼンテーション・ヒアリング審査（業務実施方針、評価テーマに対する技術提案の内容の審査）を行いました。

業務実施方針、評価テーマに対する技術提案の内容については、選定委員会委員（次頁参照）が参加者のプレゼンテーションを踏まえて評価・採点を行いました。

① 二次審査の結果（選定結果）

順位	参加者	書類審査(65点)	プレゼンテーション・ヒアリング審査(135点)	合計点(200点)
1 受託予定者	株式会社安井建築 設計事務所	58.0点	92.1点	150.1点
2 次点者	株式会社山下設計 関西支社	44.3点	90.9点	135.2点
3	参加者C	41.6点	92.6点	134.2点
4	参加者D	43.8点	83.0点	126.8点

② 受託予定者の主な提案内容

【災害対応】

- ・建物と機能を保全するために基礎免震構造を採用している。また、地盤の高さを外構レベルで標高 3.5m、1階床レベルで標高約 4.3m まで嵩上げするとともに、防水型境界塀、防潮扉を設置することにより浸水対策を徹底している。その他にも、地盤改良や液状化対策、公用車（緊急車両）専用駐車場・動線の確保、地域一帯で災害に備える防災計画など、災害時の対応力強化に向けた様々な提案が盛り込まれている。

【建物ボリューム、総事業費の削減】

- ・ワンフロアあたりの面積を広くして6階建て（高さ 31m 以下）の建物とすることで、階段やエレベータなど各階に必要なスペースの縮減や総事業費の抑制、周辺景観との調和を実現する提案となっている。また、1・2階部分をピロティ形式とすることで、コストの削減と外部空間・広場の創出を両立させる提案となっている。

【動線計画（アクセスの利便性）】

- ・庁舎のメインエントランスは国道 28 号側に設けているが、庁舎南側や東側にも入口を設置するとともに、西側のアンダーパスから歩行者が直接庁舎へ入ることができる動線など、来庁者がアクセスしやすい動線計画について提案されている。

※ 受託予定者の提案概要は、別紙のとおりです。ただし、あくまで現時点のものであり、記載内容がそのまま設計に反映される（設計内容が確定した）ものではありません。今後、協議を重ねながら設計内容を決定していきます。

③ 選定委員会委員

	氏 名	所属等	専門分野
外部有識者 (4名)	柏木千春	流通科学大学 人間社会学部観光学科教授	・都市プロモーション ・観光地域づくり
	田端和彦	兵庫大学 副学長	・地域政策 ・地域経済
	三輪康一	神戸大学 名誉教授	・都市計画 ・建築計画
	本塚智貴	明石工業高等専門学校 建築学科助教	・建築計画 ・防災まちづくり
市職員 (3名)	工藤泰平	明石市総務局工事検査課検査担当課長	
	山口泰寛	明石市政策局プロジェクト推進室長	
	山田賢	明石市政策局SDGs推進室長	